

食と農が拓く持続可能な地域コミュニティ

みなさんは地元で採れた農産物を、
普段からどの程度消費していますか？
地産地消の取り組みは、地域の活性化や
持続可能性の向上に大きな影響を及ぼしています。
本フォーラムでの、専門家による講演と、
参加者同士のグループワークを通じて、
私たちにできる地域づくりの実践について考え、
食と農が拓く持続可能な地域社会の未来を
一緒に描いていきましょう。

2025. 8. 22(金)

時間 13:00 - 16:40 受付12:30

場所 益田合同庁舎5階 大会議室
(益田市昭和町13-1)

基調講演 13:10-14:10

講師 ^{つる} 鶴 ^{り え こ} 理恵子

(専修大学人間科学部教授)



専門分野
社会学、日本民俗学
著書
農家女性の社会学、
有機給食スタートブック 他

地産地消が拓く、地域の未来

人口減少、少子高齢化、農業従事者の減少、耕作放棄地の増大など、
暗い話ばかりが報道されているが、本当にそれだけなのか？
未来に希望が持てる現実について、地産地消と地元で採れた農産物を
活用した学校給食が地域の未来を拓くカギとなることをお話します。

事例発表 14:20-15:30

①有機農業を通じた地域コミュニティ形成の取り組み

柿木での暮らし農業の取り組み (食と農・かきのきむら企業組合 福原 圧史)

きがるに有機菜園の取り組み (草の庭、高津川てらす 花崎 雪)

②株式会社キヌヤの地産地消の取り組み

株式会社キヌヤ LBクラブ推進室次長 益田 隆

グループワーク 15:40-16:30

地域コミュニティを”耕し直す”

食と農が担ってきた地域づくりから学びをとおして、私たちは何を”耕し直す”必要があるのか語り合います。

申込 QRコードより、電子申請にてお申込みください。
※電子申請にはメールアドレスが必要です。
メールアドレスをお持ちでない方は裏面を参考にFAXでお申込みください。

問合せ 島根県西部県民センター益田事務所 石西地域振興課
電話：0856-31-9751 メール：masuda-chiiki@pref.shimane.lg.jp

主催 島根県 後援 益田市、津和野町、吉賀町



